

東大阪市域の密集市街地における

# 地域の防災力向上に向けた取組

## 取組① MUSUBOUプロジェクトを実施

大阪公立大学都市科学・防災研究センター(UReC)が提供する防災人材育成プログラムを実施し、AR(拡張現実)を用いたまち歩きと振り返り(まちの危険性の共有)、地域のリスクを考えるワークショップ等を行いました。



ARにより、文化住宅が被災する状況を疑似体験



ワークショップ



## 取組② 防災啓発(防災訓練、感震ブレイカー説明会)

東大阪市・消防局と連携し、自主防災会や自治会が主催する防災訓練の支援をしています。感震ブレイカー説明会では、密集市街地での地震時における電気火災対策の必要性を伝えています。



感震ブレイカー説明会



ジャッキを使った救助訓練



非常用トイレ・テントの稼働訓練

## 取組③ 合同防災訓練での防災啓発

市内で開催されている合同防災訓練では、地震や水害をテーマとしたブースを出展し防災啓発を行っています。



市による救出救助訓練



防災ブース